



事業前の飯能大河原地区（昭和62年5月撮影）

はんのうおおかわら
ビッグヒルズ飯能大河原／飯能大河原地区

飯能大河原地区は、東京都心から北西約 47km、飯能市の中心部から西に約 2.5kmに位置します。西武池袋線「飯能」駅までバスで約 8 分、「飯能」駅から「池袋」駅までは約 42 分です。また、圏央道青梅インターチェンジおよび狭山日高インターチェンジからともに約 9kmであり、広域的幹線道路へのアクセスに優れた位置にあります。

当初は、住宅系を主体とする土地利用計画でした。しかし、社会経済情勢の変化を踏まえ、首都圏最大級の大規模施設用地（二次開発道路整備によりさまざまな敷地規模のニーズに対応）とその周辺を囲む公園・緑地を主体とする、土地利用計画に変更しました。これによって、奥武蔵の緑豊かな自然環境を保全しつつ、産業の誘導を図り、地域活力の向上や雇用を創出することが期待されています。

今年 6 月には換地処分。飯能市と連携して現地視察会・企業立地セミナーを開催するなど、宅地完成前からきめ細かな営業活動を展開した結果、現在約 20 社（民有地を含む）の施設立地が決定。一部では既に操業も行われ、新たな活動が始まっています。また、観光名所である天覧山などの周辺の豊かな自然環境とも相まって、「龍崖山公園」や「あかね公園」、「自然散策路」などには多くの方が訪れており、にぎわいのあるまちの形成が進んでいます。

タイムトリップ

多くの方が訪れた龍崖山公園の開園式（今年 3 月撮影）



建設中の工場（今年 10 月撮影）



施設立地が始まった飯能大河原地区（昨年 10 月撮影）着色部：現在、施設立地が決定した箇所